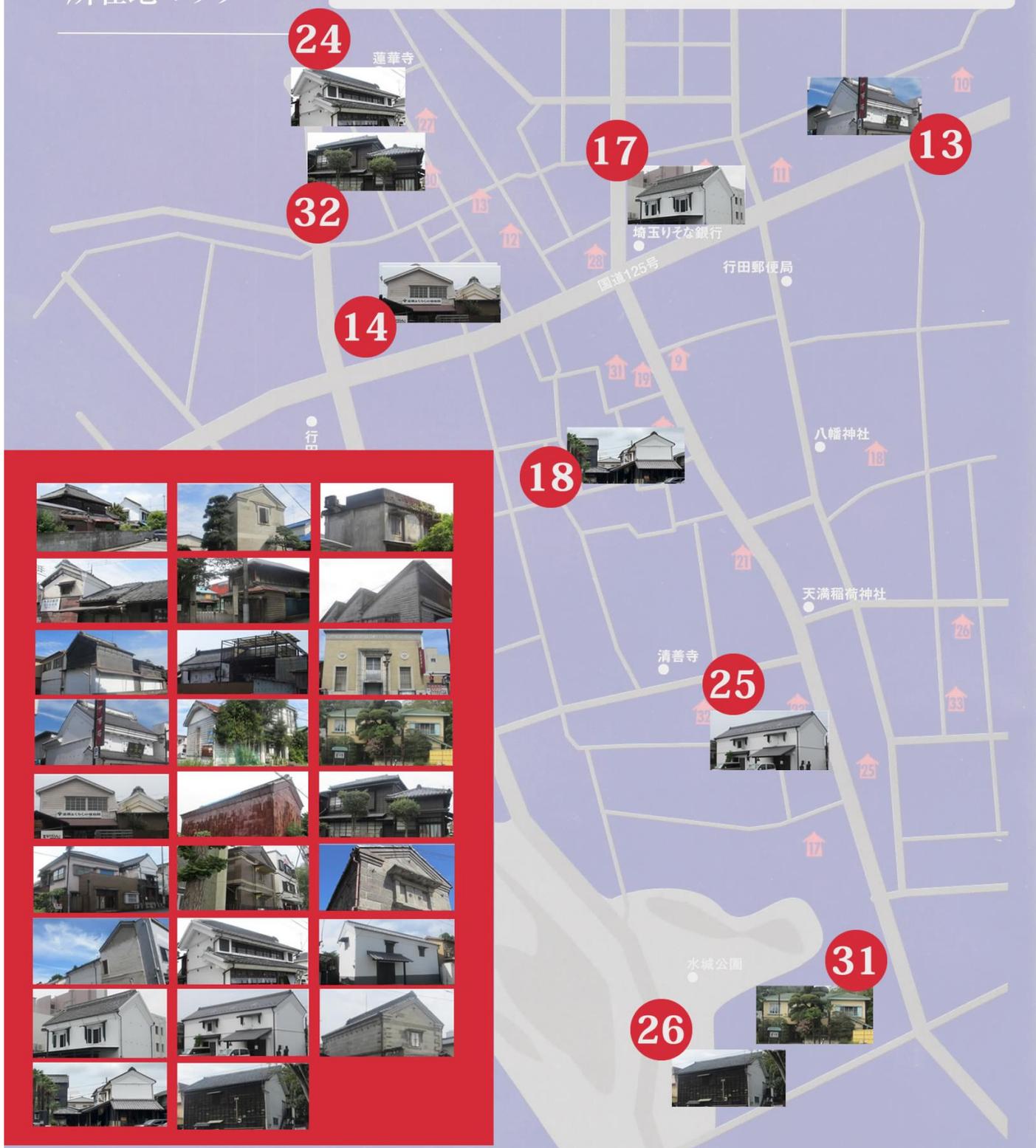


⑦平成時代の店蔵、足袋蔵（再生化）



足袋蔵の再生・再利用。

平成 12 年は全国一の産地の地位を譲り、平成 16 年、行田の足袋生産量は年間 141 万足（全国シェアの 35.1%）まで落ち込み、平成 25 年には 23.1% になっている。平成 19 年には行田足袋商工協同組合が解散しています。

平成 16 年(2004)に行田商工会議所のバックアップを受けて『NPO 法人行田足袋蔵ネットワーク』が設立され、足袋蔵などの遊休化した近代遺産を歴史的な価値を生かしながら再生化しようと活動を始めました。